京都府立医科大学大学院保健看護学研究科
カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）

＜博士前期課程＞

（１）　最新のエビデンスに基づいた保健看護学の理論と方法論を構築できる基礎的能力を身につけられるよう共通科目、専門科目を体系的に配置する。

（２）　専門性と倫理観に裏づけられた実践能力を備えた看護者や教育指導者の養成と学術的研究の充実を図るための各専門領域の目標に対応した専門科目および特別研究、専門演習を配置する。

（３）　がん専門看護師コースにおいては、特定の専門看護分野における最新の知識及び技術を深めるための専門科目および演習、実習、課題研究を配置する。

以上の専門教育を通じて、高い倫理観を身につけ、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な卓越した能力の習得度により評価する。

＜博士後期課程＞

博士後期課程のディプロマポリシーでは、保健看護学の卓越した教育研究能力と実践能力を兼ね備えた高度な専門職業人の育成を目指している。カリキュラムポリシーでは、これらが具体的に修得できるよう「共通科目」と「専門科目」を通じて、高邁な倫理観を身につけるとともに、専攻分野について自立した教育研究や実践活動を行うに必要な能力およびその基礎となる豊かな学識を涵養する。